



学校だより

2月号

横浜市立桜台小学校

令和2年1月31日発行

上級生の姿に学ぶ

副校長 高浜 正太郎

1月16日(木)6校時のクラブ活動での出来事です。その日3年生が見学する時間になっていました。来年度4年生になった時に自分が加入するクラブを決めるために、グループごとに興味のあるクラブ活動の様子を見学している姿を見かけ、私も一緒に見学することにしました。

本年度、桜台小学校には9つのクラブがあり、校庭や体育館、特別教室等を使って活動しています。どのクラブも6年生が部長としてリーダーシップを発揮し、活動計画を立て意欲的に取り組んでいます。特に、クラブ見学当日は、3年生の目を意識しているからなのか、動きや取り組みが一段と生き生きとしているように感じられました。中には、3年生に対して参加を呼びかけているクラブもあり、活気にあふれていました。見学している3年生からは「わあ、すごい。」という驚きの声や「楽しそう。私もやってみたい。」という興味関心の声が聞かれ、4年生から6年生までの上級生が活動する様子を見ながら熱心にメモをとっていました。

このような様子を見ていると、上級生の行動から刺激を受けるとともに憧れの気持ちを持ち、その姿を目標として自分たちも努力していこうとする桜台小学校のよき伝統を感じとることが出来ます。6年生は、あと2ヶ月後には卒業式を迎えます。最後まで本校のよきリーダーとして活躍してほしいと願っています。

また、本校では年間を通してたてわり活動が計画的に実施されています。6月の運動会でのたてわり種目を始め、年間を通してのたてわり集会やたてわり給食、きずな集会などを通して、回を重ねるごとにたてわり班の絆が深まっていきます。各班をまとめる立場の6年生も徐々に最高学年としての自覚を持ち、上手に班をまとめていきます。そして、10月の全校遠足では、半日という長い時間を、たてわり班の仲間とともに協力しながら活動したりお弁当を食べたりして楽しく過ごしています。今後の活動としては、リーダーとしてお世話になった6年生を囲んでお礼の会と給食を共にする「ありがとう給食」が3月に予定されています。

日常の学校生活では経験できない異学年集団での活動は、それぞれの学年に応じて役割が求められます。低学年の児童には、上級生の言うことをしっかりと聞きながら行動することが求められます。中学年の児童には、班のみんなに迷惑をかけないように自分のことは自分でやり遂げることが求められます。そして、高学年の児童には、班をまとめるとともに下級生を適切にリードしたり面倒をみてあげたりすることが求められます。

どこの学校でも行われているたてわり活動ですが、本校の場合は全体で15班あるところを、さらに3グループずつに細かく分けることで、45班での活動としています。よって、1グループの人数が10人程度となり、それぞれに与えられる役割がより明確になってきます。その役割をしっかりと果たすことで信頼感が生まれ、温かい雰囲気の中で活動できているように思います。さらに、たてわり班での集会活動を年間で計画的に行っていることが、班の絆を深めているのだと思います。

暦の上では立春が近づいてきましたが、まだまだ寒さの厳しい毎日が続きます。空気も乾燥していることから、風邪やインフルエンザを防ぐために、引き続き手洗いやうがいなどの励行を呼びかけています。ご家庭でもお声かけくださるようによろしくお願いいたします。

